

2016年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)	P.3
4. 主要製品の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 第2四半期 業績と予想(連結)	P.6
7. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)	P.7
8. 開発品一覧	P.8~9
【参考資料】	
9. セグメント情報	P.11
10. 損益計算書の概要(連結)	P.12~13
11. 貸借対照表の概要(連結)	P.14
12. 主な業績項目の推移(連結)	P.15
13. 杏林製薬資料	P.16~19

2015年11月5日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2016年3月期 第2四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	前年比	16年3月期 (予想)	前年比
売上高	47,954	50,851	51,112	52,386	+2.5%	120,200	+6.3%
営業利益	6,269	6,213	4,587	4,099	-10.6%	16,000	+8.6%
経常利益	6,609	6,531	4,898	4,266	-12.9%	16,300	+5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,295	4,397	3,495	2,967	-15.1%	11,500	-4.7%

16年3月期 第2四半期 連結業績(実績)

【売上高】 喘息治療配合剤「フルティフォーム」等の主力製品が伸長したことから、新医薬品事業等の売上が前年度を上回り、売上高は523億86百万円(前年比2.5%増)と増収になりました。

【利益】 売上が前年に対して増加するとともに、原価率が低下したため、売上総利益は10億53百万円増となりましたが、販売費及び一般管理費が15億42百万円増加したため、営業利益は40億99百万円(前年比10.6%減)と減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億67百万円(前年比15.1%減)となりました。

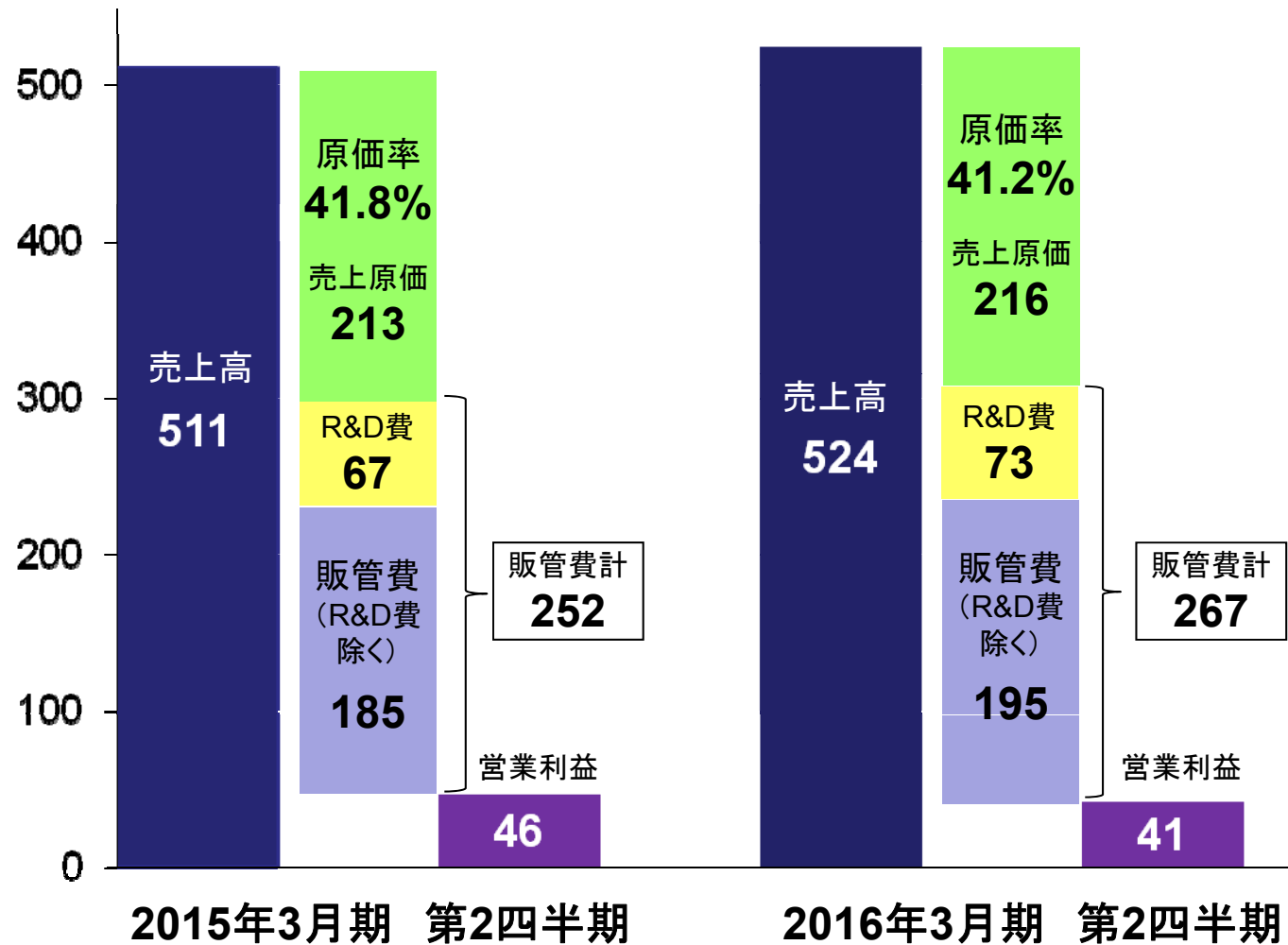
16年3月期 連結業績(予想)

2015年5月13日に公表した通期の業績予想につきましては、現段階で変更いたしていません。

(16年3月期 連結業績(予想)に対する進捗度 売上高:43.6% 営業利益:25.6%)

2016年3月期 第2四半期 業績のポイント(対前年)

(単位:億円)



<ポイント>

- 売上高は前年比13億円増
 - ・主力製品の売上増 (フルティフォーム、キプレス、ウリス)
- 売上原価率は0.6%低減
 - ・主力製品の売上増
 - ・後発医薬品の売上ウェイト低下
- 売上総利益は前年比10億円増
- 販管費は前年比15億円増
 - ・R&D費は6億円増 (新施設関連費用、プロジェクト進捗)
 - ・販管費(R&D費除く)は10億円増 (特許等使用料、販売費の増加)
- 営業利益は前年比5億円減

2016年3月期 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)

(単位: 億円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年
売上高	511	524	+13
医薬品事業	505	518	+13
◆新医薬品	408	422	+14
○国内	404	416	+12
○海外	3	6	+3
◆後発医薬品	78	74	-4
◆一般用医薬品他	20	22	+2
ヘルスケア事業 (スキンケア)	6	6	0
営業利益	46	41	-5
経常利益	49	43	-6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	35	30	-5

※国内新医薬品にキョーリン製薬グループ工場の売上を含みます

		対前年	対予想
■売上高	524億円	(+13)	(-20)
◆医薬品事業	518億円	(+13)	(-19)
●国内新医薬品	416億円	(+12)	(-9)
	15.3(2Q) ⇒ 16.3(2Q)		
・キプレス	174 ⇒ 188	(+14)	(+7)
・ムコダイン	62 ⇒ 59	(-3)	(+7)
・ペンタサ	86 ⇒ 81	(-5)	(-3)
・ウリトス	34 ⇒ 37	(+3)	(-1)
・フルティフォーム	9 ⇒ 30	(+21)	(-11)
●海外新医薬品	6億円	(+3)	(+2)
・ガチフロキサシン	1 ⇒ 4	(+3)	(+3)
●後発医薬品	74億円	(-4)	(-13)
	・自社販売の売上増加、他社受託の売上減少		
●一般用医薬品他	22億円	(+2)	(+2)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	6億円	(0)	(-1)
■営業利益	41億円	(-5)	(+3)
◆営業利益率は7.8%と1.2ポイント低下			
●原価率: 前年比0.6ポイント低下 (41.8%⇒41.2%)			
	・主力製品(フルティフォーム、キプレス、ウリトス)の売上増		
	・後発医薬品の売上ウエイト低下		
●研究開発費率: 前年比0.8ポイント上昇 (13.1%⇒13.9%)			
	* 67億円⇒73億円(6億円増加)	(+6)	(-1)
	わたらせ創薬センター関連費用、プロジェクト進捗		
●販管費率(除くR&D費): 前年比0.9ポイント上昇 (36.2%⇒37.1%)			
	* 185億円⇒195億円(10億円増加) 特許等使用料、販売費の増加		
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	30億円	(-5)	(+4)
◆配当(中間)	20円00銭		3

2016年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位:億円)

		13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期		15年3月期	16年3月期 (予想)
					実績	前 同 比		
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	163	171	174	188	+7.9%	412	418
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	83	82	62	59	-3.6%	140	118
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	90	94	86	81	-5.9%	172	171
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	36	37	34	37	+9.3%	73	79
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	—	9	30	+216.2%	36	103
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	9	10	1	4	+178.7%	6	4
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	10	10	10	+8.5%	20	20

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期
売上高	439	462
営業利益	35	32
当期純利益	29	25

15年3月期	16年3月期 (予想)
985	1,053
122	133
104	100

キョーリン リメディオ	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期
売上高	80	74
営業利益	9	6
当期純利益	6	4

15年3月期	16年3月期 (予想)
164	185
21	23
15	16

ドクタープログラム	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期
売上高	6	6
営業利益	0	0
当期純利益	0	0

15年3月期	16年3月期 (予想)
14	16
0	0
0	0

2016年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	前年差額	前年比
売上高	51,112	52,386	+1,274	+2.5%
医薬品事業	50,518	51,783	+1,264	+2.5%
◆新医薬品	40,755	42,229	+1,473	+3.6%
○国内	40,422	41,634	+1,211	+3.0%
○海外	332	594	+261	+78.7%
◆後発医薬品	7,790	7,393	-397	-5.1%
◆一般用医薬品他	1,972	2,160	+188	+9.5%
ヘルスケア事業 (スキンケア)	593	603	+10	+1.7%
営業利益	4,587	4,099	-488	-10.6%
経常利益	4,898	4,266	-631	-12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,495	2,967	-528	-15.1%

15年3月期	16年3月期 (予想)
113,121	120,200
111,771	118,600
92,111	95,700
91,079	94,700
1,032	1,000
15,477	18,200
4,183	4,500
1,349	1,600
14,737	16,000
15,490	16,300
12,064	11,500

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)

(単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	増減比	15年3月期	16年3月期 (予想)
研究開発費	4,892	6,119	6,674	7,270	+8.9%	13,514	13,400
設備投資	1,181	1,618	1,557	5,637	+262.1%	2,655	8,700
減価償却費	1,119	1,460	1,462	1,658	+13.4%	3,053	3,800

設備投資の詳細 (実績/予想)

(単位:億円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	15年3月期	16年3月期 (予想)
工場設備	9	13	15	29
管理・販売設備	2	1	3	8
研究用設備	4	42	8	50

開発品一覧①(2015年11月5日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2016年3月期第1四半期 7月30日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
PhⅢ (13年8月)	【欧州】アストラゼネカ社 : 上市(15年1月) 【米国】アストラゼネカ社 : 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用性β2刺激薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (15年1月)	【米国、欧州、他】 米国メルク社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱のβ ₃ 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月)
PhⅢ (15年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	

参考

開発段階	一般名	薬効	特 徴	備 考
※MSD(株)により申請(15年10月)	デスロラタジン	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、 皮膚そう痒症)に伴うそう痒	第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬	MSD(株)の関連会社と日本国内における共同販売契約を締結(14年11月)

開発品一覧②(2015年11月5日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2016年3月期第1四半期 7月30日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※Ph II (再) (15年8月)	メルツ社 Ph III	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月) ※中止	導出: ノバルティス POC試験 (10年12月)	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月) ※IBDの開発を中止(予定)し、移植片対宿主病(GvHD)での開発集中を決定
Ph II (14年6月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph I / II (15年7月)	【米国】桃太郎源 :Ph I / II 前立腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業[NexTEP]への採択 (14年6月)

参考資料

2016年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	524	+13	41	-5
医薬品事業計	518	+13	40	-5
◆新医薬品	422	+14		
○国内	416	+12		
○海外	6	+3		
◆後発医薬品	74	-4		
◆一般用医薬品他	22	+2		
ヘルスケア事業計	6	0	0	0
調整額	-	-	1	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要(連結)①

(単位:百万円)

	15年3月期 第2四半期		16年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	51,112	100.0%	52,386	100.0%	+2.5%	+1,274
医薬品事業	50,518	98.8%	51,783	98.8%	+2.5%	+1,264
◆新医薬品	40,755	79.7%	42,229	80.6%	+3.6%	+1,473
○国内	40,422	79.1%	41,634	79.5%	+3.0%	+1,211
○海外	332	0.6%	594	1.1%	+78.7%	+261
◆後発医薬品	7,790	15.2%	7,393	14.1%	-5.1%	-397
◆一般用医薬品他	1,972	3.9%	2,160	4.1%	+9.5%	+188
ヘルスケア事業 (スキンケア)	593	1.2%	603	1.2%	+1.7%	+10

<当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 **52,386百万円** (+1,274百万円)
 - 国内新医薬品 **41,634百万円** (+1,211百万円)

	15.3(2Q)		16.3(2Q)		(億円)
・キプレス	174	⇒	188		(+14)
・ムコダイン	62	⇒	59		(-3)
・ペンタサ	86	⇒	81		(-5)
・ウリトス	34	⇒	37		(+3)
・フルティフォーム	9	⇒	30		(+21)
 - 海外新医薬品 **594百万円** (+261百万円)

・ガチフロキサシン	1	⇒	4		(+3)
-----------	---	---	---	--	------
 - 後発医薬品 **7,393百万円** (-397百万円)
 - * 自社販売の売上増加
 - * 他社受託の売上減少
 - 一般用医薬品等 **2,160百万円** (+188百万円)
 - ヘルスケア(スキンケア) **603百万円** (+10百万円)

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences, Inc.
 キョーリン リメディオ(株)
 キョーリン メディカルサプライ(株)
 ドクタープログラム(株)
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要(連結)②

(単位:百万円)

	15年3月期 第2四半期		16年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	51,112	100.0%	52,386	100.0%	+2.5%	+1,274
売上原価	21,340	41.8%	21,561	41.2%	+1.0%	+220
売上総利益	29,771	58.2%	30,825	58.8%	+3.5%	+1,053
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	25,183 (6,674)	49.3% (13.1%)	26,726 (7,270)	51.0% (13.9%)	+6.1% (+8.9%)	+1,542 (+595)
営業利益	4,587	9.0%	4,099	7.8%	-10.6%	-488
営業外収益	315	0.6%	206	0.4%	-34.7%	-109
営業外費用	5	0.0%	39	0.1%	+591.7%	+33
経常利益	4,898	9.6%	4,266	8.1%	-12.9%	-631
特別利益	29	0.1%	0	0.0%	-98.4%	-28
特別損失	32	0.1%	107	0.2%	+232.0%	+74
税金等調整前 四半期純利益	4,894	9.6%	4,159	7.9%	-15.0%	-735
法人税・住民税 及び事業税	1,692	3.3%	936	1.8%	-44.6%	-755
法人税等調整額	-292	-0.6%	255	0.5%	—	+548
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,495	6.8%	2,967	5.7%	-15.1%	-528

<当期のポイント>

◆原価率：前年比0.6ポイント低下
(41.8%→41.2%)

- ・主力製品(フルティフォーム、キプレス、ウリス)の売上増
- ・後発医薬品の売上ウェイト低下

◆研究開発費率：前年比0.8ポイント上昇
(13.1%→13.9%)

- * 67億円→73億円(6億円増加)
- わたらせ創薬センター関連費用、プロジェクト進捗

◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.9ポイント上昇
(36.2%→37.1%)

- * 185億円→195億円(10億円増加)
- 特許等使用料、販売費の増加

■営業利益 **4,099百万円** (-488百万円)
* 営業利益率は7.8%と1.2ポイント低下

■親会社株主に帰属 **2,967百万円** (-528百万円)
する四半期純利益

■配当(中間) **20円00銭**

貸借対照表の概要(連結)

(単位:百万円)

	15年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	129,064	70.4%
現金及び預金	30,652	—
受取手形及び売掛金	47,007	
有価証券	17,867	
棚卸資産	25,929	
その他流動資産	7,607	
固定資産	54,318	29.6%
有形固定資産	19,374	—
無形固定資産	1,184	
投資その他	33,760	
資産合計	183,383	100.0%

流動負債	27,773	15.1%
支払手形及び買掛金	11,259	—
その他流動負債	16,513	
固定負債	7,009	3.8%
負債合計	34,782	19.0%
株主資本	140,518	76.6%
その他の包括利益累計額	8,082	4.4%
その他有価証券評価差額金	7,798	—
為替換算調整勘定	168	
退職給付に係る調整累計額	115	
純資産合計	148,600	81.0%
負債及び純資産合計	183,383	100.0%

16年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
124,080	66.1%	-4,984
45,043	—	—
38,609		
6,286		
27,101		
7,039		
63,649	33.9%	+9,330
23,535	—	—
1,060		
39,053		
187,729	100.0%	+4,346

27,591	14.7%	-181
10,980	—	—
16,611		
8,491	4.5%	+1,482
36,083	19.2%	+1,301
141,375	75.3%	+856
10,271	5.5%	+2,188
9,989	—	—
183		
98		
151,646	80.8%	+3,045
187,729	100.0%	+4,346

<当期のポイント>

■流動資産：4,984百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+14,390百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-8,398百万円)
- ・有価証券の減少 (-11,580百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+1,171百万円)
- ・その他流動資産の減少 (-567百万円)

■固定資産：9,330百万円増

- ・有形固定資産の増加 (+4,161百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-124百万円)
- ・投資その他の増加 (+5,293百万円)

■流動負債：181百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-278百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+97百万円)

■固定負債：1,482百万円増

主な業績項目の推移(連結)

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	50,851 (1,160)	51,112 (332)	52,386 (594)
売上原価 (売上原価率)%	19,097 (37.6%)	21,340 (41.8%)	21,561 (41.2%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	25,541 (50.2%)	25,183 (49.3%)	26,726 (51.0%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	6,119 (12.0%)	6,674 (13.1%)	7,270 (13.9%)
営業利益 (営業利益率)%	6,213 (12.2%)	4,587 (9.0%)	4,099 (7.8%)
経常利益 (経常利益率)%	6,531 (12.8%)	4,898 (9.6%)	4,266 (8.1%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	4,397 (8.6%)	3,495 (6.8%)	2,967 (5.7%)
一株当たり当期利益(円)	58.85円	46.78円	40.10円
資本金	700	700	700
総資産	155,840	164,354	187,729
純資産	130,098	139,037	151,646
一株当たり純資産(円)	1,741.24円	1,860.90円	2,047.91円
自己資本利益率%	3.4%	2.5%	2.0%
自己資本比率%	83.5%	84.6%	80.8%
人員(人)	2,481人	2,482人	2,448人
設備投資	1,618	1,557	5,637
減価償却費	1,460	1,462	1,658

15年3月期	16年3月期 (予想)
113,121 (1,032)	120,200 (1,000)
46,598 (41.2%)	—
51,785 (45.8%)	—
13,514 (11.9%)	13,400 (11.1%)
14,737 (13.0%)	16,000 (13.3%)
15,490 (13.7%)	16,300 (13.6%)
12,064 (10.7%)	11,500 (9.6%)
161.63円	155.51円
700	—
183,383	—
148,600	—
2,009.45円	—
8.4%	—
81.0%	—
2,445人	—
2,655	8,700
3,053	3,800

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	15年3月期 第2四半期		16年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	43,922	100.0%	46,157	100.0%	+5.1%	+2,234
医薬品事業	43,922	100.0%	46,157	100.0%	+5.1%	+2,234
◆新医薬品	39,353	89.6%	41,108	89.1%	+4.5%	+1,754
○国内	39,107	89.0%	40,604	88.0%	+3.8%	+1,496
○海外	246	0.6%	504	1.1%	+104.9%	+258
◆後発医薬品	3,120	7.1%	3,283	7.1%	+5.2%	+162
◆一般用医薬品他	1,448	3.3%	1,765	3.8%	+21.9%	+317

<当期のポイント>

	対前年		
■ 売上高	46,157百万円	(+2,234百万円)	
● 国内新医薬品	40,604百万円	(+1,496百万円)	
	15.3(2Q)	16.3(2Q)	(億円)
・キプレス	174	⇒ 188	(+14)
・ムコダイン	62	⇒ 59	(-3)
・ペンタサ	86	⇒ 81	(-5)
・ウリトス	34	⇒ 37	(+3)
・フルティフォーム	9	⇒ 30	(+21)
● 海外新医薬品	504百万円	(+258百万円)	
・ガチフロキサシン	1	⇒ 4	(+3)
● 後発医薬品	3,283百万円	(+162百万円)	
● 一般用医薬品他	1,765百万円	(+317百万円)	
・ミルトン	10	⇒ 10	(0)
・ルビスタ	2	⇒ 3	(+1)

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	15年3月期 第2四半期		16年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	43,922	100.0%	46,157	100.0%	+5.1%	+2,234
売上原価	17,354	39.5%	18,358	39.8%	+5.8%	+1,003
売上総利益	26,567	60.5%	27,799	60.2%	+4.6%	+1,231
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	23,069 (6,334)	52.5% (14.4%)	24,637 (6,903)	53.4% (15.0%)	+6.8% (+9.0%)	+1,567 (+569)
営業利益	3,498	8.0%	3,161	6.8%	-9.6%	-336
営業外収益	459	1.0%	306	0.7%	-33.3%	-153
営業外費用	0	0.0%	0	0.0%	+348.2%	0
経常利益	3,957	9.0%	3,468	7.5%	-12.4%	-489
特別利益	29	0.1%	-	-%	-%	-29
特別損失	7	0.0%	45	0.1%	+538.5%	+38
税引前四半期純利益	3,979	9.1%	3,422	7.4%	-14.0%	-557
法人税・住民税 及び事業税	1,361	3.1%	701	1.5%	-48.5%	-659
法人税等調整額	-321	-0.7%	239	0.5%	-174.5%	+561
四半期純利益	2,940	6.7%	2,481	5.4%	-15.6%	-459

<当期のポイント>

◆原価率：前年比0.3ポイント上昇
(39.5%→39.8%)

◆研究開発費率：前年比0.6ポイント上昇
(14.4%→15.0%)

* 63億円→69億円(6億円増加)
わたらせ創薬センター関連費用、プロジェクト進捗

◆販管費率(除くR&D費)：前年比0.3ポイント上昇
(38.1%→38.4%)

■営業利益 3,161百万円 (-336百万円)

* 営業利益率は6.8%と1.2ポイント低下

■四半期純利益 2,481百万円 (-459百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	15年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	97,822	68.4%
現金及び預金	14,587	—
売掛金	43,220	
有価証券	12,804	
棚卸資産	21,763	
その他流動資産	5,447	
固定資産	45,145	31.6%
有形固定資産	12,324	—
無形固定資産	376	
投資その他	32,444	
資産合計	142,967	100.0%

16年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
92,433	63.1%	-5,389
22,937	—	—
35,381		
6,003		
22,443		
5,667		
54,025	36.9%	+8,880
15,881	—	—
331		
37,812		
146,458	100.0%	+3,491

<当期のポイント>

■流動資産：5,389百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+8,350百万円)
- ・売掛金の減少 (-7,838百万円)
- ・有価証券の減少 (-6,801百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+679百万円)

■固定資産：8,880百万円増

- ・有形固定資産の増加 (+3,557百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-45百万円)
- ・投資その他の増加 (+5,367百万円)

流動負債	20,958	14.7%
支払手形及び買掛金	8,323	—
その他流動負債	12,635	
固定負債	3,762	2.6%
負債合計	24,720	17.3%
株主資本	110,534	77.3%
評価・換算差額等	7,712	5.4%
純資産合計	118,246	82.7%
負債及び純資産合計	142,967	100.0%

20,899	14.3%	-58
7,893	—	—
13,005		
5,003	3.4%	+1,240
25,902	17.7%	+1,182
110,639	75.5%	+104
9,916	6.8%	+2,203
120,555	82.3%	+2,308
146,458	100.0%	+3,491

■流動負債：58百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-429百万円)
- ・その他流動負債の増加 (+370百万円)

■固定負債：1,240百万円増

主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	15年3月期	16年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	44,933 (1,097)	43,922 (246)	46,157 (504)	98,452 (840)	105,300 (700)
売上原価 (売上原価率)%	15,609 (34.7%)	17,354 (39.5%)	18,358 (39.8%)	38,951 (39.6%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	23,748 (52.9%)	23,069 (52.5%)	24,637 (53.4%)	47,349 (48.1%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,848 (13.0%)	6,334 (14.4%)	6,903 (15.0%)	12,843 (13.0%)	12,700 (12.1%)
営業利益 (営業利益率)%	5,575 (12.4%)	3,498 (8.0%)	3,161 (6.8%)	12,151 (12.3%)	13,300 (12.6%)
経常利益 (経常利益率)%	6,087 (13.5%)	3,957 (9.0%)	3,468 (7.5%)	13,115 (13.3%)	13,800 (13.1%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	4,261 (9.5%)	2,940 (6.7%)	2,481 (5.4%)	10,412 (10.6%)	10,000 (9.5%)
一株当たり当期利益(円)	57.38円	39.60円	33.41円	140.20円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	122,396	126,945	146,458	142,967	—
純資産	103,608	110,288	120,555	118,246	—
一株当たり純資産(円)	1,395.06円	1,485.00円	1,623.24円	1,592.16円	—
自己資本利益率%	4.1%	2.7%	2.1%	9.1%	—
自己資本比率%	84.7%	86.9%	82.3%	82.7%	—
人員(人)	1,797人	1,801人	1,762人	1,771人	—
設備投資	929	635	4,435	1,125	6,100
減価償却費	807	814	961	1,667	2,200